

令和6年2月6日
高齢福祉部
介護予防・地域支援課

認知症高齢者等の行方不明発生時における区の対応について

1 主旨

高齢化の進展に伴い、国の推計では令和7年(2025年)には、65歳以上の高齢者の約5人に1人は認知症になると見込まれている。認知症や認知症の疑いのある行方不明者は年々増加傾向にあり、令和4年(2022年)には全国で1万8,709人に達し、過去最多を更新した。

今後増加が見込まれる認知症高齢者等の行方不明発生時の早期対応を図り、早期発見に繋げるため、高齢者の24時間365日の電話相談窓口である「世田谷区高齢者安心コール」(以下、高齢者安心コールという)および「災害・防犯情報メール配信サービス」を活用し、区民からの相談対応や区による搜索対応の充実を図る。

2 実施内容

(1) 高齢者安心コールでの行方不明者通報受付

これまであんしんすこやかセンターや保健福祉課が対応していた認知症高齢者等の行方不明発生時の区への通報窓口を、高齢者の24時間365日の電話相談窓口である高齢者安心コールに変更し、通報窓口の一本化を図る。

(2) 「災害・防犯情報メール配信サービス」の活用

通報者からの依頼に基づき、「災害・防犯情報メール配信サービス」(登録者：約5万人)により行方不明者情報を配信する。

3 周知方法

区ホームページ、チラシ配布、あんしんすこやかセンター等窓口や各種事業での周知、ケアマネジャー等福祉関係者への周知、町会回覧 等

4 経費(概算)

- ・高齢者安心コール委託料(本件対応分) 1, 188千円
- ・周知用チラシ用紙代 46千円

5 今後のスケジュール(予定)

令和6年4月 新たな体制による運用開始
区ホームページ等での周知開始

【実施内容のイメージ図】

